

十勝の沖積土地帯における甜菜畑



(十勝・幕別町相川)

甜菜の収穫作業



(十勝・幕別町札内)

は し が き

本道における甜菜栽培は、その歴史極めて古く、明治初年、北海道開拓使が札幌で試作したのが始まりといわれている。その後多くの変せんを経て今日の広面積をみるにいたっているが、とくに十勝地方が先駆的役割りを果たしていることは否めない。

甜菜の試験研究については、明治34年、北海道農事試験場が設置されて以来、全道的な組織をもつて実施されてきたが、中でも十勝支場におけるその内容は多岐にわたり、甜菜糖業発展に寄与するところはまことに大きい。

今回、技師嶋山御二が既往の試験調査成績をまとめたので「甜菜試験成績集（十勝支場）」として刊行し、参考に供する次第である。

昭和 35 年 3 月

北海道立農業試験場長

秋 濱 浩 三